

Close Up

クローズアップ
交通教育センター先進の安全運転支援システムの
正しい理解の普及をめざすために

Honda は昨年 9 月に発売した N-BOX 以降、軽自動車を含めた新型モデルで、衝突軽減ブレーキ（自動ブレーキ）を含む「Honda SENSING」（3 面参照）と総称する先進の安全運転支援システムを標準装備化している。このような安全運転支援システムを搭載したクルマが増えていくことが予想され、運転するお客様にその機能の効果や限界について正しく理解していただくことが重要である。そこで、Honda は四輪販売会社（Honda Cars）のスタッフが、より正しくお客様に安全運転支援システムの説明ができると同時に、各販売拠点等で体感試乗を安全に運営するための研修プログラムを作成。今年から Honda の交通教育センターで、四輪販売会社のスタッフを対象にした研修を開始した。

お客様を対象とした体感試乗での
指導内容や運営方法を理解してもらう

5 月 14 日、交通教育センターレインボー埼玉で研修が開催され、千葉・栃木・群馬県の Honda Cars のスタッフ 26 人が受講した。この研修は座学と実技で構成されている。

座学では、同センターの黒岩寛インストラクターが、「『Honda SENSING』は、人間や生物のように『今、どんなことが起きているか？』をミリ波レーダーとカメラによって常に検知（センシング）します。そして、危険だと判断したら、それを回避あるいは被害をできるだけ軽減できるようにドライバーの操作を支援します」と、安全運転支援システムの仕組みや作動原理を解説した。さらに、お客様を対象とした体感試乗を実施する際の条件についても指導。試乗内容は衝突軽減ブレーキと誤発進抑制機能とすること、お客様の体感試乗は同乗のみで、その際のドライバーは交通教育センターの研修受講など特別なトレーニングを修了した者に限定すること、安全を最優先した試乗コースの設定・運営などを伝えた。

実技は、まず同乗体験から。インストラクターが運転するクルマに同乗し、衝突軽減ブレーキや誤発進抑制機能を体験する。50m 先に設置された専用のダミーターゲットに向かって、20～25km/h で走行。ダミーターゲットに接近すると警告音が鳴るが、インストラクターはあえてブレーキを踏まない。すると、衝突軽減ブレーキが作動して、ダミーターゲットの手前でクルマは停止。「今日は晴れていて路面も乾燥していたので、上手く止まることができました。雨や雪の日など路面状況によっては衝突する場合もあります。この機能は、あくまで速度を下げた衝突による被害を軽減するためのものであることを、お客様に伝えるようにしてください」とインストラクターは補足した。再びスタート地点に戻り、同様に 20～25km/h で走行。今度は警告

音が鳴ったタイミングでインストラクターがブレーキをかけて停止。「衝突軽減ブレーキが作動した時よりも余裕をもって停止できることがわかったと思います。重要なのは、自分の目でまわりをよく観て、こうした機能に頼らないことです」と、インストラクターは安全運転をすることの必要性も強調した。次に受講者自身が運転し、衝突軽減ブレーキや誤発進抑制機能を体験。その後、受講者は交互に指導者役とお客様役となり、安全アドバイスをするためのロールプレイを行った。受講者からは「衝突軽減ブレーキや誤発進抑制機能を体験したことで、さらに理解が深まりました。この体験をお客様への説明に活かしたい」という声が多く聞かれた。

最後に、教室で安全運転支援システムや体感試乗の運営に関する確認テストで理解度をはかり、1 日にわたる研修は終了した。研修を受講した Honda Cars 千葉 販売部販売課課長 滝口憲太郎さんは「お客様の体感試乗を実施するためには、私たちが正しく理解することが重要だとわかりました。また、私たちが指導者になった際、お客様が納得し、理解がより深まる説明方法を教えてもらったことも良かったと思います」と感想を話す。同社経営企画室主任 岩崎雄太さんは「安全運転支援システムは万能ではなく、限界があることをお客様にアピールして、誤解や過信しないようにすることが私たちの重要な役割だと再認識しました」と語った。

この研修は今後も全国の交通教育センターで実施され、四輪販売会社のスタッフからお客様へ、先進の安全運転支援システムに対する正しい理解の普及が進められていく（3 面に続く）。



座学ではインストラクターが安全運転支援システムの仕組みや作動原理、体感試乗を実施する際の注意点を説明



最初はインストラクターの運転で衝突軽減ブレーキと誤発進抑制機能を体験



最後に受講者同士でお客様にわかりやすく安全アドバイスをするためのロールプレイを実施

Close Up

クローズアップ 四輪販売会社

各地で展開されている Honda Cars による体感試乗

お客様向けのドライバースクールで実施
Honda Cars 千葉

Honda Cars 千葉はクルマを販売するだけでなく、お客様に安心・安全で快適なカーライフを提供するための一環として年1回、ドライバースクール（以下、スクール）を実施している。車庫入れ、縦列駐車、死角の確認、パンク修理など日常の運転に役立つプログラムとなっている。同社は、このスクールの中に「Honda SENSING」の体感試乗を取り入れた。今年は6月4日に流山自動車学校で開催し、お客様23人が参加。体感試乗のコーナーは交通教育センターレインボー埼玉での研修（2面参照）を受講した同社販売部販売課課長 滝口憲太郎さんと同社経営企画室主任 岩崎雄太さんが担当した。最初に、滝口さんと岩崎さんが図やイラストを参加者に見せながら、衝突軽減ブレーキなどの作動原理や機能の限界を説明。その後、参加者は二人が運転するクルマに同乗して衝突軽減ブレーキなどを体感する。研修同様、1回目はブレーキを踏まず衝突軽減ブレーキを作動させて停止。2回目は警告音が鳴ってからブレーキを踏んで停止。滝口さんは「衝突軽減ブレーキが作動するたび、お客様

から驚きの声が上がっていたので、安全な場所で体感できる機会を設けて良かったと感じています。ダミーターゲットの手前で停止した時、意図的に『運良く止まりました』とっていました。すると、お客様から『それはどういうこと？』と質問があるので、私の解説を熱心に聞いていただけます。安全に止まるのは路面や気象など様々な条件がそろった時で、システムを過信してはいけないことを印象づけられたと思います」と話す。体感試乗があるから参加したという高齢の男性は「衝突軽減ブレーキのついたクルマに乗っていますが、それが作動する場面はなかったので、本当に機能するのか半信半疑でした。条件がそろえば衝突軽減ブレーキが作動することを確かめられて、安心できました。また、スタッフの方のわかりやすい説明で、安全運転支援システムは補助的な存在であることを再認識できました」という。近々運転を再開するので「車庫入れ」の練習をしたいと参加した女性は「衝突軽減ブレーキを体感してみて、前方のクルマと衝突しそうなことを音で教えてくれる点がありがたいと感じました。警告音に気づいて自分がブレーキをかければ、システムに頼らず安全に止まることがわかりました」と話す。間もなく新車が納車されるという女性は「スクールがあると

知って Honda 車に決めました。車庫入れの練習ができたり、タイヤがパンクした時の対応を教えてもらえるなど、初心者の私にとってはうれしい内容でした。また、衝突軽減ブレーキや誤発進抑制機能を体感して、『Honda SENSING』のついているクルマを選んで良かったと実感しています」と語った。

Honda Cars 千葉は今後もスクールなどで体感試乗の場をお客様に提供していく考えだ。

埼玉県交通安全体験フェアで実施
Honda Cars 埼玉

5月23日、埼玉県・埼玉県警察本部・埼玉県自動車販売店協会による「交通安全体験フェア2018」が埼玉スタジアム2002東駐車場で開催された。同フェアは来場者がHondaをはじめ各自動車メーカーの安全運転支援システムを体験できるようになっている。「Honda SENSING」の体験エリアでは、昨年11月に研修を受講したHonda Cars 埼玉のスタッフ3人が参加者を試乗車に乗せて、衝突軽減ブレーキなどに関する説明をした。参加者の一人は「『Honda SENSING』を体験できると聞いて試乗しました。スタッフの方の説明を聞いて、衝突軽減ブレーキの機能や限界がよくわかりました。これ以外にも運転をサポートしてくれる機能がたくさんあるので、とても安心感があります。『Honda SENSING』が搭載されている車種の購入を検討しようと思います」と語った。



お客様に衝突軽減ブレーキの作動原理と機能の限界を説明する Honda Cars 千葉 販売部販売課課長 滝口憲太郎さん（写真中央右）と同社経営企画室主任 岩崎雄太さん（写真中央左）



Honda Cars 千葉のドライバースクールでの体感試乗



ドライバースクールでは体感試乗のほか、死角の確認など安全運転に必要な知識を伝えるプログラムが用意された



お客様に体感を通じて安全運転支援システムへの理解を深めてもらう



車庫入れや縦列駐車のコツを身につけてもらうために、Honda Cars 千葉のスタッフが参加者一人ひとりを丁寧に指導



参加者は Honda Cars 埼玉のスタッフが運転するクルマで衝突軽減ブレーキなどを体感



埼玉県の「交通安全体験フェア2018」では埼玉スタジアム2002東駐車場に試乗コースを設営

Honda SENSING

安心・快適機能を搭載した先進的安全運転支援システム

- ① 衝突軽減ブレーキ（CMBS：Collision Mitigation Brake System）
- ② 誤発進抑制機能
- ③ 後方誤発進抑制機能
- ④ 歩行者事故低減ステアリング
- ⑤ 路外逸脱抑制機能
- ⑥ ACC（アダプティブ・クルーズ・コントロール：Adaptive Cruise Control）
- ⑦ LKAS（車線維持支援システム：Lane Keep Assist System）
- ⑧ オートハイビーム
- ⑨ 先行車発進お知らせ機能
- ⑩ 標識認識機能
- ⑪ トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）

※車種により搭載機能が異なる。各機能の詳細は以下のホームページを参照。

<http://www.honda.co.jp/hondasensing/>